

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ⁽¹⁾	他自治体・関係団体等との連携 ⁽²⁾	事業名	事業概要	事業期間 ⁽³⁾	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ⁽⁴⁾	再掲	再掲基本方針4	
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	①「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」を活用したイメージ戦略の展開	みやぎ蔵王三十六景ブランド創定会議における観光振興に向けた事業立案 【重点3再掲】	(1) 88	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創定会議	ブランド創定会議開催事業	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	継続	①ブランド創定会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催 第1回：5/24、第2回：11/21開催 ・仙南地域広域観光推進プランの改訂及び各種事業の進捗確認、WGの活動報告等 ②温泉分科会開催（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷FBでの情報発信（3月末現在投稿数40件）	①ブランド創定会議開催（みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催（年3回程度）） ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認、第5期みやぎ観光戦略プランの検討、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討	①ブランド創定会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催 第1回：6/10、第2回：11/4開催 ・第5期みやぎ観光戦略プランの検討、仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認、みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討			○	
				(2) 27,89,105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創定会議 仙南地域地産産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当該主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白五市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	・みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折りフレットの作成 ・「地域の逸品」新規推奨品目の盛り起こし			○	②	
				(3) 4,32,90,107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創定会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月23日現在フォロワー数760人）。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	・twitterキャンペーンを2回実施（6月6～15日、9月12～21日）フォロワー数：約6,300人 ・公式Instagram開設（4月12日）フォロワー数：約400人			○	②
		②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 【重点1(1)】	(4) 3,32,90,107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創定会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月23日現在フォロワー数760人）。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	・twitterキャンペーンを2回実施（6月6～15日、9月12～21日）フォロワー数：約6,300人 ・公式Instagram開設（4月12日）フォロワー数：約400人			○	②
				(5) 6,33,62,66,96	大河原地振	大河原地振	管内市町・隣県市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定（共通のぼり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載）			○	②
				(6) 5,33,62,66,96	大河原地振	大河原地振	管内市町・隣県市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定（共通のぼり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載）			○	②
		各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション 【重点1(1)】		(13) 67,97	大河原地振	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会（大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等）	福島県福島市 福島県伊達市	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 ・県南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	継続	・県南地域部会会議の開催（7/14） ・仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン期間におけるPRとして、9月1日からの特別企画を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により10月1日からの2か月実施、応募総数は803通。 ・通年版エリアガイド「ぐるり県南」をリニューアル。 ・独自事業：みやぎ仙南サイクルーツリズム推進協議会と連携し、初心者体験ライド中の補給食提供や観光PRを行った（計3回）。	・「巡るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や県制150周年記念と併せてPRを行う。 ・県制150周年記念と併せて特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」を開催（7月～9月）応募総数1014通 ・「ウォーキングアプリ「あるくと」」と連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催（9月～11月） ・県南ぐるっとマップの修正増刷 ・みやぎ仙南サイクルーツリズム推進協議会との連携（体験ライド中の観光PR等）	・県制150周年記念と併せて特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」を開催（7月～9月）応募総数1014通 ・「ウォーキングアプリ「あるくと」」と連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催（9月～11月） ・県南ぐるっとマップの修正増刷 ・みやぎ仙南サイクルーツリズム推進協議会との連携			○	②	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

大河原地振

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域住民等による観光資源の発掘と発信	(15) 25, 103	大河原地振	大河原地振	管内市町 (食育コーディネーター、生活改善グループ等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	・地元密着の人気キャラクター「仙台弁こけし」とコラボした「仙南の郷土料理『おくずかけ』をお酒＆日帰り味わう！キャンペーン」を開催（1月14日から3月14日まで、温泉旅館等、飲食店8店舗参加）。キャンペーンオリジナルグッズ2種を作成し配布（手ぬぐい、アクリルキーホルダー）	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	・仙南の種を堪能！白湯温種「おくずかけ」×そば！キャンペーンを実施（10/1～11/30）の魅力を発信。			②
			地域の優れた資源の磨き上げ	(21) 39-1 101-1	大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA！みやぎZAO」	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを達成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	—	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査（回答数：280件） ・モニターイベント実施に向けた打合せ ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会（10/11～12）			②
		②観光客を惹きつける“食”の広域展開	仙南地域ならではの食の名物づくり	(25) 15, 103	大河原地振	大河原地振	管内市町 (食育コーディネーター、生活改善グループ等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	・地元密着の人気キャラクター「仙台弁こけし」とコラボした「仙南の郷土料理『おくずかけ』をお酒＆日帰り味わう！キャンペーン」を開催（1月14日から3月14日まで、温泉旅館等、飲食店8店舗参加）。キャンペーンオリジナルグッズ2種を作成し配布（手ぬぐい、アクリルキーホルダー）	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	・仙南の種を堪能！白湯温種「おくずかけ」×そば！キャンペーンを実施（10/1～11/30）の魅力を発信。			②
				(26) 104	大河原地振	大河原地振	管内市町 (食品製造・販売事業者等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②仙南スイーツ振興事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ（観光の目玉）とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	・せんいんスイーツ&カフェマップ作成（11千部作成。管内市町の菓子店及びカフェの店舗掲載）。「せんいんスイーツ&カフェラリー」を開催（10月23日から1月23日まで、管内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加）	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	・仙南スイーツPRのほり旗の作成 ・山形県、福島県の道の駅と連携したマルシェ（11月5～6日）の開催 ・管内道の駅と連携したスイーツマルシェの開催（4月24日；道の駅かみた。5月28日；おもしろい市場。11月12～13日；道の駅村田）			②
				(27) 289, 105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地場産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当節主催企業の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折りプリントの作成 ・「地域の逸品」新規推奨品目の掘り起こし			②
				(32) 3.4, 90, 107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月29日現在フォロワー数700人）、又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当節Twitterを活用し、仙南地域特産品・プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	・twitterキャンペーンを2回実施（6月6～15日、9月12～21日）フォロワー数：約6,300人 ・公式Instagram開設（4月12日）フォロワー数：約400人			②
	施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効率的なイベントの展開	仙南地域の観光イベントの一体的なPR	(33) 5.6, 62, 66, 96	大河原地振	大河原地振	管内市町 ・隣県市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	・隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつりイベント」の一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定（共通のほり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載）			②
			市町間連携による観光イベントの実施	(33-1) 62-1 66-1 96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町 ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	・宮城県創150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型（謎解き、すごろく、携帯ゲーム的なもの等）の周遊企画を実施する。	「仙南ねこまさんぐん」①置賜かねたんぐん」のどちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを集めた周遊イベント「おでかむそーらー」を実施（10～11月）。			②
			③国・県外からの誘客に向けたプロモーション	(39-1) 21 101-1	大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA！みやぎZAO」	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを達成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	—	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査（回答数：280件） ・モニターイベント実施に向けた打合せ ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会（10/11～12）			②

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

大河原地振

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策5 広域連携による多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	①周辺観光圏域との広域観光ルートの形成	隣接地域との連携による観光ルート形成	(62) 5.6. 33.66. 96	大河原地振	大河原地振	管内市町 隣県市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定（共通のぼり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載）		○	②	
				(62-1) 33-1 66-1 96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町 山形県置賜地域 国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	・宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型（謎解き、すごろく、携帯ゲーム的なもの等）の周遊企画を実施する。	「仙南こまごまぐん」どちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを集めて、携帯ゲーム的なもの等の周遊企画を実施する。		○	②	
		(66) 5.6. 33.62. 96	大河原地振	大河原地振	管内市町 隣県市町	広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定（共通のぼり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載）		○	②			
	(66-1) 33-1 62-1 96-1	大河原地振	大河原地振	白石市、七ヶ宿町 山形県置賜地域 国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	・宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型（謎解き、すごろく、携帯ゲーム的なもの等）の周遊企画を実施する。	「仙南こまごまぐん」どちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを集めて、携帯ゲーム的なもの等の周遊企画を実施する。		○	②				
	(67) 13.97	大河原地振		仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 泉南地域部会 （大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等）	福島県福島市 福島県伊達市	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会泉南地域部会事業	・泉南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	継続	・「運るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や泉制150周年記念と併せてPRを行う。 ・泉制150周年記念と併せて特別企画「泉南ご当地キャラクターを採せ！2022」を開催（7月～9月）応募総数101通 ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した「秋の仙南満喫ウォーカー」を開催（9月～11月） ・泉南ぐるっとマップの修正増刷 ・みやぎ仙南サイクルーツ推進会議との連携（体験ライド中の観光PR等）	・「運るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や泉制150周年記念と併せてPRを行う。 ・泉制150周年記念と併せて特別企画「泉南ご当地キャラクターを採せ！2022」を開催（7月～9月）応募総数101通 ・ウォーキングアプリ「あるくと」と連携した「秋の仙南満喫ウォーカー」を開催（9月～11月） ・泉南ぐるっとマップの修正増刷 ・みやぎ仙南サイクルーツ推進会議との連携（体験ライド中の観光PR等）		○	②				
	施策6 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化	②交通情報及び観光サインの充実	分かりやすい観光サインの整備	(70) 83	大河原地振	宮城県 仙南2市7町		観光サインの整備	観光客の円滑な周遊のため、観光案内サインの整備を行う。	継続	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【七ヶ宿町】 ・長老湖から不忘平和記念公園までの散策路を整備	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園地内の木道改修	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園地内の木道改修	市町村振興総合補助金		○	
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策7 インバウンド受入体制の強化	⑤周遊しやすい交通環境の整備	分かりやすい観光サインの整備	(83) 70	大河原地振	宮城県 仙南2市7町		観光サインの整備	観光客の円滑な周遊のため、観光案内サインの整備を行う。	継続	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【七ヶ宿町】 ・長老湖から不忘平和記念公園までの散策路を整備	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園地内の木道改修	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施【白石市】 ・水芭蕉園地内の木道改修	市町村振興総合補助金		○	
				(88) 1	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	ブランド創造会議開催事業	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	継続	①ブランド創造会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催（年3回程度） ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認。第5期みやぎ観光戦略プランの検討。みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷FBでの情報発信（12月未現在投稿数40件）	①ブランド創造会議開催（みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催） ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催（年3回程度） ・仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認。第5期みやぎ観光戦略プランの検討。みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討 ②温泉分科会（必要に応じて開催） ・みやぎ蔵王温泉郷の連携した取組を検討	①ブランド創造会議開催 ・みやぎ観光振興会議仙南圏会議との併催（年3回程度） ・第5期みやぎ観光戦略プランの検討。仙南地域広域観光推進プランに基づく取組の進捗確認。みやぎ蔵王三十六景を活用した各種事業の検討		○		
	施策9 観光振興を推進する連携体制の強化	①多様な関係主体が連携した一体的観光運営組織の運営	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案	【重点3】 (89) 2.27. 105	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地産産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の知名度向上、ブランド方向を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の逸品」詰め合わせセット作成。当該主催企業の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の逸品」コーナーを設置。 ・「地域の逸品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連動したスポーツ紹介やプレゼンテーション等の仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」三つ折リーフレットの作成 ・「地域の逸品」新規推奨品目の掘り起こし		○	②	
(90) 3.4.32 107	大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した（3月23日現在フォロワー数760人）。又事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	・twitterキャンペーンを2回実施（6月6～15日、9月12～21日）フォロワー数：約6,300人 ・公式Instagram開設（4月12日）フォロワー数：約400人		○	②					

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

大河原地振

基本方針	施策	小項目	主な取組	通し No.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲 基本方針4			
基本方針4 新型コロナウイルスからの回復のための取組	施策10 新型コロナウイルスからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、強みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備	(95-1)101	大河原地振	大河原地振		みやぎ観光振興会議仙南圏会議	地元の魅力再発見・観光モデルプラン造成発信事業	みやぎ観光振興会議仙南圏会議WG活動として仙南地域における新たな観光モデルプランを造成し、近郊からの誘客を図る。	R2～R3	仙南地域への誘客の推進に向けたツアー造成の参考とするため、地域の食・文化・歴史を体感できる田舎体験を組み合わせた新たな観光モデルコースとするモニターツアーを2回実施。 第1回8/4(村田・大河原・蔵王)、第2回11/13(白石・七ヶ宿)、第3回1/29は中止(角田・丸森・柴田) ・夏と秋のモニターツアー内容を含む日帰りツアー4商品、令和4年度伊達バス旅に提案し、3ツアーが造成された。	—		○	—			
			地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進	(96-1)33-1 (96-1)62-1 (96-1)66-1	大河原地振	大河原地振		管内市町 ・関東市町		広域観光・物産情報の発信強化事業	隣県や管内の観光イベントの一体的PRにより、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	隣県の山形県、福島県との意見交換を行い、「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットに隣県のイベント情報も掲載したほか、管内のスイーツ情報なども掲載して作成。 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信を積極的に行った。	・隣県、管内の「ひなまつり」イベントの一体的PRポスター・リーフレットの作成 ・HP、SNS等の各種媒体を活用した情報発信	・アンケート実施による方針決定(共通のぼり旗の作成、ひな祭り限定スイーツメニューの掲載)	○	—		
		②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	【重点4】	地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進	(97)13.67	大河原地振	大河原地振		白石市、七ヶ宿町 山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会	仙南・置賜連携事業	仙南地域及び山形県置賜地域の魅力を活かし、宮城・山形の相互交流を促進する。	R4	—	・宮城県制150周年記念に合わせて、伊達家の歴史を振り返る機会とするとともに、歴史と文化を切り口としたエンターテインメント型(謎解き、すごろく、携帯ゲーム的なもの等)の周遊企画を実施する。	・仙南こねごきぐん」や「置賜 かねたんぐん」のどちらかの武将になり、国道113号沿線を中心とした計19か所を巡り獲得したポイントを競う周遊イベント(おたけむりーらー)を実施(10～11月)。	○	—		
				仙南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	(101)95-1	大河原地振	大河原地振		福島県福島市 福島県伊達市	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 仙南地域部会	仙南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う。	・県南地域部会会議の開催(7/14) ・仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン期間におけるPRとして、9月1日からの特別企画を予定しているが、新型コロナウイルス感染拡大により10月1日からの2か月実施、応募総数は903通。 ・「遠年飯エニアガイド」ぐるり県南」をリニューアル ・独自事業、みやぎ仙南サイクルーツリズム推進会議と連携し、初心者体験ライド中の補給食提供や観光PRを行った(計3回)。	継続	・「運るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」キャンペーン期間や県制150周年記念と併せてPRを行う。 ・県制150周年記念と併せて特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ! 2022」を開催(7月～9月)応募数1014通 ・「ウォーキングアプリア」あるくと連携した各市町ウォーキングコース設定による誘客(9月～11月) ・みやぎ仙南サイクルーツリズム推進会議との連携(体験ライド中の観光PR等)	・県制150周年記念と併せて特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ! 2022」を開催(7月～9月)応募数1014通 ・「ウォーキングアプリア」あるくと連携した「秋の仙南満喫ウォークラリー」を開催(9月～11月) ・県南ぐるっとマップの修正増刷 ・みやぎ仙南サイクルーツリズム推進会議との連携	○	—		
				仙南地域への誘客の推進に向けたツアー造成の参考とするため、地域の食・文化・歴史を体感できる田舎体験を組み合わせた新たな観光モデルコースとするモニターツアーを2回実施。	(101)95-1	大河原地振	大河原地振		みやぎ観光振興会議仙南圏会議		地元の魅力再発見・観光モデルプラン造成発信事業	みやぎ観光振興会議仙南圏会議WG活動として仙南地域における新たな観光モデルプランを造成し、近郊からの誘客を図る。	R2～R3	—	仙南地域への誘客の推進に向けたツアー造成の参考とするため、地域の食・文化・歴史を体感できる田舎体験を組み合わせた新たな観光モデルコースとするモニターツアーを2回実施。 第1回8/4(村田・大河原・蔵王)、第2回11/13(白石・七ヶ宿)、第3回1/29は中止(角田・丸森・柴田) ・夏と秋のモニターツアー内容を含む日帰りツアー4商品、令和4年度伊達バス旅に提案し、3ツアーが造成された。	—		○	—
				仙南アドベンチャーーツリズム	(101-1)21 39-1	大河原地振	大河原地振		管内市町		仙南アドベンチャーーツリズム	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	—	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・モニターイベント実施に向けた打合せ ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11～12)	○	—	
		仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信	【重点4】	仙南地域の「食」のブランド化推進事業	(103)15.25	大河原地振	大河原地振		管内市町 (食育コーディネーター、生活改善グループ等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の知名度向上と観光資源としての活用を図る。	H30～	・地元密着の人氣キャラクター「仙台弁くしけ」とコラボした「仙南の郷土料理おくずかけ」をお宿と連携して味わい1キャンペーンを開催(1月14日から3月14日まで、温泉宿館、飲食店8店舗参加)。キャンペーンオリジナルグッズ2種を作成し配布(手ぬぐい、アクリルキーホルダー)	・仙南・置賜連携事業と連携したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	・子ども達が自然を体験できる遊び場に関する調査 ・仙南地域のアクティビティコンテンツを活用したイベント実施	・仙台圏の子育て世帯を対象としたアンケート調査(回答数:280件) ・モニターイベント実施に向けた打合せ ・仙南地域のアクティビティコンテンツの情報収集 ・アクティビティコンテンツに関する研修会(10/11～12)	○	—	
				仙南地域の「食」のブランド化推進事業	(104)26	大河原地振	大河原地振		管内市町 (食品製造・販売事業者等)	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②仙南スイーツ振興事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ(観光の目玉)とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R1～	・せんにゃんスイーツ&カフェマップ作成(11千部作成、管内市町の菓子店及びカフェ60店舗掲載)。 ・「せんにゃんスイーツ&カフェラリー」を開催(10月23日から1月23日まで、管内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加)	・仙南・置賜連携事業と連携したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催	・仙南スイーツPRのぼり旗の作成 ・山形県、福島県の道の駅と連携したマルシェ(11月5～8日)の開催 ・管内道の駅と連携したスイーツマルシェの開催(4月24日:道の駅かた。5月28日:おもしろい市場、11月12～13日:道の駅村田)	○	—		
				仙南地域の「食」のブランド化推進事業	(105)2.27 89	大河原地振	大河原地振		みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議 仙南地域地産産業振興協議会	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の産品」普及促進事業	「みやぎ蔵王三十六景地域の産品」の知名度向上、ブランド力向上を図る。	継続	・道の駅村田と連携して、5000円相当の「地域の産品」詰め合わせセット作成。当部主催企画の当選者賞品として活用。 ・観光振興会議WGのモニターツアーの際に、白石市の「おもしろい市場」で「地域の産品」コーナーを設置 ・「地域の産品」として計21品目を新規推奨し、取扱店に2店舗追加。	・仙南・置賜連携事業と連携したスポーツ紹介やプレゼントグッズ等での仙南の食の魅力のPR。 ・福島県、山形県と連携した地元事業者等によるマルシェ開催を支援。各県の道の駅と相互に交流を図りながら、仙南の食や観光の魅力を発信。 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントの開催 ・管内道の駅等と連携した「みやぎ蔵王三十六景地域の産品」詰め合わせセット作成や、SNSを活用した情報発信。	・「みやぎ蔵王三十六景地域の産品」三つ折りリーフレットの作成 ・「地域の産品」新規推奨品目の掘り起こし	○	—		
				仙南地域の「食」のブランド化推進事業	(105-1)	大河原地振	大河原地振		管内市町		地域周遊型誘客促進事業	仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」を広く周知し、菓子を観光コンテンツ(観光の目玉)とした仙南地域への集客と周遊促進を図る。	R3	—	・せんにゃんスイーツ&カフェマップ作成(11千部作成、管内市町の菓子店及びカフェ60店舗掲載)。 ・「せんにゃんスイーツ&カフェラリー」を開催(10月23日から1月23日まで、管内市町の菓子店及びカフェ48店舗参加)	—		○	—
				仙南地域の「食」のブランド化推進事業	(107)3.4.32 90	大河原地振	大河原地振		みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議		広報展示事業	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るための広報・展示を行う。	継続	令和3年4月27日に事務所twitterを開設し、積極的に投稿し、仙南地域の魅力を発信した(3月23日現在フォロワー数760人)。又、事務所HPやブログ、FB等の広報媒体を活用し幅広く広報活動を行った。	・twitter等のSNSを積極的に活用して広報・展示を行う。 ・当所twitterを活用し、仙南地域特産品プレゼントキャンペーンを行うことで、さらなる情報発信体制の強化につなげる。	・twitterキャンペーンを2回実施(6月6～15日、9月12～21日)フォロワー数:約9,300人 ・公式Instagram開設(4月12日)フォロワー数:約400人	○	—	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(R1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(R2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(R3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(R4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」の 프로모ーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同 프로모ーション 【重点1(1)】	(7) 34,100	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和3年4月1日から9月30日まで開催。プレゼンT抽選には598道の応募があった。また、あるふりFREE(発行部数70,000部)に広告掲載、各市町の秋の魅力についてPRを行った。	例年開催している国道113号沿線を巡るスタンプラリーの実施を予定している。また、各市町で開催される物産展への参加による交流や、観光関連雑誌への掲載などで「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指す。	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和4年7月23日から10月29日まで開催。抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけみちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力PRした。		○	②
	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	①観光資源の発掘・磨き上げ	地域の優れた資源の磨き上げ	(20) 52,93	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2~	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントを2回実施。また、読解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。	甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。	甲冑体験については、白石城が令和4年2月から災害復旧工事中であったことから、イベント会場等に出向いて実施している。また、SNSやYouTubeチャンネルを活用し、白石市に関する情報発信を行った。積極的にメディアに出るなどプロモーション活動にも取り組んでいる。		○	①
	施策3 「みやぎ蔵王」の多様な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効果的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施	(34) 7,100	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和3年4月1日から9月30日まで開催。プレゼンT抽選には598道の応募があった。また、あるふりFREE(発行部数70,000部)に広告掲載、各市町の秋の魅力についてPRを行った。	例年開催している国道113号沿線を巡るスタンプラリーの実施を予定している。また、各市町で開催される物産展への参加による交流や、観光関連雑誌への掲載などで「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指す。	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和4年7月23日から10月29日まで開催。抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけみちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力PRした。		○	②
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多彩な体験型観光メニューの造成 【重点2】	(52) 20,93	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2~	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントを2回実施。また、読解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。	甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。	甲冑体験については、白石城が令和4年2月から災害復旧工事中であったことから、イベント会場等に出向いて実施している。また、SNSやYouTubeチャンネルを活用し、白石市に関する情報発信を行った。積極的にメディアに出るなどプロモーション活動にも取り組んでいる。		○	①
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	①近郊観光需要の取り込み及びwithコロナ時代の新たな観光価値の提供に向けて、従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組	体験型コンテンツの造成及び新たな観光価値提供に向けた受入環境整備 【重点4】	(93) 20,52	白石市	白石市		地域おこし協力隊活用事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2~	白石城での甲冑体験の実施のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントを2回実施。また、読解き冊子の制作販売や地元企業とのコラボレーション商品を開発するなど、白石市特有の観光資源を活用した事業を行った。また、SNSを活用した情報発信や、複数のメディアに取り上げってもらうことで白石市のプロモーション活動を行った。	甲冑試着体験のほか、白石城本丸広場でキャンプイベントなど、白石市の特性を活かした観光振興事業の企画運営を行う。	甲冑体験については、白石城が令和4年2月から災害復旧工事中であったことから、イベント会場等に出向いて実施している。また、SNSやYouTubeチャンネルを活用し、白石市に関する情報発信を行った。積極的にメディアに出るなどプロモーション活動にも取り組んでいる。		○	-
			地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進 【重点4】	(100) 7,34	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和3年7月1日から9月30日まで開催。プレゼンT抽選には598道の応募があった。また、あるふりFREE(発行部数70,000部)に広告掲載、各市町の秋の魅力についてPRを行った。	例年開催している国道113号沿線を巡るスタンプラリーの実施を予定している。また、各市町で開催される物産展への参加による交流や、観光関連雑誌への掲載などで「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指す。	みちのくおとぎ街道スタンプラリーを令和4年7月23日から10月29日まで開催。抽選で、宿泊施設利用券や各市町の特産品が当たる仕組みとして実施した。また、東北の道の駅で配布されるフリーペーパー「おでかけみちこ」(発行部数10,000部)に広告記事を掲載、各市町の秋の魅力PRした。		○	-
	②地元の見直し・磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(111)	白石市	白石市 白石商工会議所 白石市観光協会		新型コロナウイルス経済対策 割増商品券事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって大きな影響を受けた市経済回復と市民生活を支援するため、市内で利用できる割増商品券を販売。	R2~	使用期間を令和3年9月1日から令和4年1月31日までとし、15,000セット販売。応募多数であったため抽選を行い、当選者に販売した。参加店舗は小売業を中心に248店舗、商品券の回収率は99.58%だった。	同様の事業を実施予定であるが、詳細は未定。	3割増商品券(1セット5,000円)を40,000セット予約販売を行った。全ての店舗で使える共通券と、小規模店舗のみ使える専用券6枚を1セット(総額5,000円)とし、使用期間は、令和4年9月1日から令和5年1月31日までとした。参加事業者は小売店を中心に249店舗。		地方創生 臨時交付金	-	-
		観光需要喚起と併せて市内事業者支援を目的とし、特産品の産地をテーマにデジタルスタンプラリー方式により実施するもの。	(111-1)	白石市	白石市観光協会	白石ろーめん総選挙スタンプラリー事業	観光需要喚起と併せて市内事業者支援を目的とし、特産品の産地をテーマにデジタルスタンプラリー方式により実施するもの。	R3	令和3年12月1日から令和4年2月28日まで、市内37箇所を対象スポットとして実施した。総スタンプ数は1,903で、特設サイトの閲覧者は約2,000名であった。SNSやWEB広告でPRを行ったことで、白石温湯の知名度向上につながった。	同様の事業を実施予定であるが、詳細は未定。	※観光需要回復のためのプロモーション事業と併せて実施する。		地方創生 臨時交付金	-	-	
			仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信 【重点4】		白石市	白石市観光協会		観光需要回復のためのプロモーション事業	本市は、車で1時間程度の距離に県庁所在地が3市も立地している潜在性が高い商圏内にあることから、近隣市町並びに東北6県に向けて重点的にプロモーションを行い、マイクロツーリズムを目的とする観光客の集客を図り、観光需要の本格的回復に結び付ける。	R4	-	・各種メディアを活用した観光プロモーション ・誘客促進イベント実施 ・ホームページを活用した観光情報発信 ・弥留館にPRプロモーション		-	-	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

角田市

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション 【重点1(1)】	(8)	角田市	角田市	・亶理町 ・山元町	イベント運営事業	登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。	継続	11月23日(火・祝)実施 参加者:40名 講師:亶理まちづくり協議会3名 亶理町の一口羊羹、山元町のゆずマドレーヌ、角田市の干し梅をお土産として参加者へ提供 毎年の恒例イベントとして参加者に喜ばれている。	・関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かしたお土産セット(菓子類)を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(10月22日(土)予定)	10月22日(土) 参加者:29名 講師:NPO法人 山元・あしたの響き 2名 亶理町のいちごの苺屋、山元町のゆずマドレーヌ、角田市のガブドラをお土産として参加者へ提供 登山ルートを変更しながら毎年の恒例イベントとして実施している。			
					角田市	角田市			各種まつりの開催				葉の花まつり 4月29日 宇宙っ子まつり 5月5日 梅まつり 6月11日・12日 ずんだまつり 10月2日 ねぎまつり 10月29日・30日 牽牛姫まつり 令和5年2月から3月	葉の花まつり 4月29日 25,872人 宇宙っ子まつり 5月5日 1,548人 梅まつり 6月11日・12日 3,568人 ずんだまつり 10月2日 5,000人 牽牛姫ひなまつり 令和5年2月から3月予定		
	施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	②連携による効率的なイベントの展開	市町間連携による観光イベントの実施	(12) 36	角田市	角田市 柴田町 丸森町	・阿武隈急行(株) ・沿線市町	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	継続	・あぶQウォークについては12月5日に宮城県側沿線自治体である柴田町、丸森町と合同開催 ・沿線活性化事業の開催については「わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日)」「フォトコンテストの展示(8月1日～9月30日)」を行った。 ・角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業として、「お絵かきトレイン(8月8日、12月5日)」、各種イベント時の駅からシャトルバス運行を実施した。	・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催	沿線活性化事業の開催 ・あぶきゅうウォーク(11月27日開催予定) ・わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日展示予定) 角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業 ・お絵かきトレイン(11月28日開催予定) ・阿武隈急行Instagram投稿キャンペーン(9月1日～10月31日まで)			○
(36) 12				角田市	角田市 柴田町 丸森町	・阿武隈急行(株) ・沿線市町	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	継続	・あぶQウォークについては12月5日に宮城県側沿線自治体である柴田町、丸森町と合同開催 ・沿線活性化事業の開催については「わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日)」「フォトコンテストの展示(8月1日～9月30日)」を行った。 ・角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業として、「お絵かきトレイン(8月8日、12月5日)」、各種イベント時の駅からシャトルバス運行を実施した。	・あぶQウォークの開催(時期未定) ・沿線活性化事業の開催 ・阿武隈急行線利用促進事業の開催	沿線活性化事業の開催 ・あぶきゅうウォーク(11月27日開催予定) ・わたしたちのあぶくま急行絵画展(11月1日～30日展示予定) 角田市単独のあぶくま急行線利用促進事業 ・お絵かきトレイン(11月28日開催予定) ・阿武隈急行Instagram投稿キャンペーン(9月1日～10月31日まで)			○	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

大河原町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上	②観光客を惹きつける「食」の広域展開	仙南地域ならではの食の名物づくり	(23)	大河原町	大河原町	大河原町観光物産協会	食のブランド化事業	地域食材を活用した名物づくり	R1～	新型コロナウイルスの感染拡大を受け桜まつり等各イベントが中止となったことや、食品を取り扱う事業であったことから、令和3年度での実施を見送ることとなった。	・町内飲食店の店主が講師となる食の講座「食の職人☆手ほどき講座」を開催予定	R4. 11月以降実施予定			
			連携による地場産品の販売促進活動	(28)	大河原町	仙南2市7町	仙南地域地場産品振興協議会	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	・県庁1階ロビー販売会に出展(10月4日～8日) ・仙南うまいものマルシェ実施(11月13日・14日：仙台市勾当台公園内) 上記事業の実施により、仙南地域の地場産品の販売促進を図った。	・東京池袋のふるさとプラザでの仙南地域の物産展開催を予定。	R5年度より事務局は七ヶ宿町。 10月17日(月)～21日(金)仙南うまいもの市(県庁販売)を実施。				
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策5 広域連携による多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	②仙南地域の観光ルート形成	テーマ性のある観光ルート形成	(65)	大河原町	仙南2市7町		みやぎ仙南サイクリスト推進会議事業	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクリスト推進事業を推進する。	R1～	初級サイクリスト体験ライド ①蔵王町・村田町コース(10月30日) ②角田市・丸森町コース(12月19日) ③柴田町・大河原町コース(3月13日) ・フェイスブック、インスタグラム開設 ・R4実施のフォトコンテスト告知 ・WEB広告による圏域のPR・情報発信	・初級サイクリスト体験ライド 白石市・七ヶ宿町・川崎町・村田町コース ・フォトコンテストの実施 ・デジタルスタンプラリー(蔵王三十六景との連携を模索) ・SNS発信	フォトコンテスト実施済み、応募点数149点の内、グランプリ1点、2市7町賞9点を選定。仙南の物産品を贈呈。その他の事業については、R4. 11月以降随時実施予定。			市町村振興総合補助金

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

村田町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良い再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信 【重点4】	(108)	村田町	村田町観光物産協会	村田町	観光HP構築事業	観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う	R2～	村田町観光物産協会において、随時情報を発信し、観光サイトの魅力向上、認知度向上を図った。	継続して観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図る。	観光HPやSNSによる情報発信を実施し、観光客の誘致及び認知度の向上を図った。	地方創生交付金	-	-
			地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(114)	村田町	村田町商工会	村田町	商店街にぎわい創出事業 生活応援スタンプラリー事業	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る。	R2～	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している町内事業者等の売上回復を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している町内事業者等の売上回復を図る。	6月と10月にスタンプラリーイベントを実施。町内飲食店や店舗の周遊を促し、売上増を図った。	地方創生交付金	-	-
			地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(115)	村田町	村田町	村田町商工会	地元経済応援クーポン券配布事業	新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を被った地域経済の活性化及び地域住民支援	R2～	新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を被った地域経済の活性化及び地域住民支援を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を被った地域経済の活性化及び地域住民支援を図る。(1世帯当たり10,000円分)	新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を被った地域経済の活性化及び地域住民支援を図る。 5月：全世帯に10,000円分 7月：高校生以下子どもに3,000円分 9月：75歳以上高齢者に3,000円分 10月：全世帯に10,000円分、高校生以下子どもに3,000円分 11月：全世帯に5,000円分、65歳以上高齢者に5,000円分、高校生以下子どもに5,000円分	地方創生交付金	-	-
					村田町	村田町	スポーツランドSUGO	FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド	スポーツランドSUGOと村田町の共催で「FIMアジアロードレース選手権」を開催。スポーツランドSUGOでは15年ぶりとなる国際大会で日本を告めたアジア各州からトップライダーが参戦。今回のレースをきっかけにインバウンド観光客増を図る。	R4	-	-	8月13日(土)～14日(日)の2日間に大会が開催された。当日はスポーツランドSUGO内でアジアフードフェスティバルや、町中心部の蔵の町並み内で、蔵の縁日イベントが併催され賑わいをみせた。			
					村田町	村田町観光物産協会	スポーツランドSUGO	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の特長を商品化する」採択事業【武将カード】	村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形県の武将隊をゲストと呼び、カードによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カードや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。	R4	-	-	10月23日(日)にイベント開催。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。カードのタイムトライアルや各武将隊の演舞披露があり、スポーツランドSUGOに新たな客層を獲得した。	観光庁		

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

柴田町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ⁽¹⁾	他自治体・関係団体等との連携 ⁽²⁾	事業名	事業概要	事業期間 ⁽³⁾	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ⁽⁴⁾	再掲	再掲基本方針4
基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築	施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開	②広域連携による「みやぎ蔵王」の 프로모ーション	各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション 【重点1(1)】	(11) 29.74	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 （インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指す。国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 →一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション(12月2日～R5.1月19日) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 【2町共通】 ・ウェブや新聞紙等のメディアで、「一目千本桜」を写した写真を収集中（思い出フォトコンテスト）。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
	施策3 「みやぎ蔵王」の多様な魅力のPRによる誘客促進	①WEBを活用した効果的な情報発信	観光PR動画の発信 【重点1(1)】	(29) 11.74	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 （インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指す。国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 →一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	・2町共通桜パンフ、マップ製作(3月完了予定) ・一目千本桜景観形成100年記念事業	・ウェブや新聞紙等のメディアで、「一目千本桜」を写した写真を収集中（思い出フォトコンテスト）。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多様な体験型観光メニューの造成 【重点2】	(50) 64	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 （「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指す。国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【2町共通】 ・多言語対応と文化体験映像コンテンツ制作完了 ・多言語対応ウェブサイト構築完了【柴田町】 ・スプリングフラワーフェスティバル→R4.3開催予定 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション(12月2日～R5.1月19日) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 【2町共通】 ・ウェブや新聞紙等のメディアで、「一目千本桜」を写した写真を収集中（思い出フォトコンテスト）。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
				(51)	柴田町	柴田町	・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	光のまちづくり推進事業（ナイトツーリズム）	オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。	継続	・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月	・Shibata Fantasy Illumination 2022開催	今年度は12月2日(金)～30日(金)の期間で開催することし、開催に向けた実行委員会を10月6日(木)、11月15日(火)に実施予定。	町費	○	
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策5 広域連携による多様な魅力ある周遊ルートの形成	①周辺観光圏域との広域観光ルートの形成	隣接地域との連携による観光ルート形成	(63) 99	柴田町	柴田町	・みやぎ蔵王ハート二ヶ所回廊推進協議会（県南2市9町）	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～R4	・季節ごとのガーデンルートツアーの案を作成。 ・造成したツアーの、各市町担当者による視察研修を開催。そのヒアリングシートをもとにツアー案を練り上げる。	・協議会のホームページを立ち上げ、令和3年度に造成したツアーや、協議会委員(行政・民間問わず)が行う事業を掲載することで、閲覧者が宮城県南エリアの情報を一括で取得できるものを目指す。	年度内のホームページ立ち上げに向け、準備中。 広域連携についての研修会を計画中。	市町村振興総合補助金 町費	○	②
				(64) 50	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 （「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指す。国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【2町共通】 ・多言語対応と文化体験映像コンテンツ制作完了 ・多言語対応ウェブサイト構築完了【柴田町】 ・スプリングフラワーフェスティバル→R4.3開催予定 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション(12月2日～R5.1月19日) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 【2町共通】 ・ウェブや新聞紙等のメディアで、「一目千本桜」を写した写真を収集中（思い出フォトコンテスト）。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり	施策7 インバウンド参入体制の強化	①観光情報の多言語化	多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 【重点1(2)】	(74) 11.29	柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 （インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指す。国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 2021開催→12月 →一目千本桜周辺の景観形成として船岡城址公園や白石川沿いの植栽を完了。 【2町共通】 ・台湾の旅行会社20社を訪問し、一目千本桜のPRを行った。 ・2町共通パンフ・マップ A6版(3月製作完了)	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination 【2町共通】 ・2町共通桜パンフレット制作 ・一目千本桜景観形成100年記念事業（思い出フォトコンテスト、公用車ラッピング等）	【大河原町】 ・おさがわ桜イルミネーション(12月2日～R5.1月19日) 【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) 【2町共通】 ・ウェブや新聞紙等のメディアで、「一目千本桜」を写した写真を収集中（思い出フォトコンテスト）。 ・のぼり、ポスターのデザインなど、委託業者を含む3者で協議中。	観光復興交付金（繰越） 町費	○	
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地域のコンテンツ等の一体的なパッケージ性を持つ広域周遊の促進 【重点4】	(99) 63	柴田町	柴田町	・みやぎ蔵王ハート二ヶ所回廊推進協議会（県南2市9町）	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～R4	・季節ごとのガーデンルートツアーの案を作成。 ・造成したツアーの、各市町担当者による視察研修を開催。そのヒアリングシートをもとにツアー案を練り上げる。	・協議会のホームページを立ち上げ、令和3年度に造成したツアーや、協議会委員(行政・民間問わず)が行う事業を掲載することで、閲覧者が宮城県南エリアの情報を一括で取得できるものを目指す。	年度内のホームページ立ち上げに向け、準備中。 広域連携についての研修会を計画中。	市町村振興総合補助金 町費	○	—
					柴田町	柴田町	交流人口拡大事業	一年を通した「花のまち柴田」の四季の花まつり					・しばた紫陽花まつり(6月中旬～7月中旬) ・しばた豊珠沙華まつり(9月中旬～10月中旬) ・みやぎ大菊花展柴田大会 ・Shibata Fantasy Illumination(12月) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月中旬)	・しばた紫陽花まつり(6月17日～7月10日)期間中11,393人来場 ・しばた豊珠沙華まつり(9月17日～10月2日)期間中10,176人来場 ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日～11月13日) ・Shibata Fantasy Illumination(12月2日～30日) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(3月11日、12日)	10月29日(土)、30日(日)の2日間の開催に向け、柴田町・観光物産協会の2者で準備中。	

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

川崎町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針4 新型コロナからの回復のための取組	施策10 新型コロナからの回復のための取組	②地元の良さ再発見。磨き上げとPR等により、地域に利益を還元する取組	地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出 【重点4】	(116)	川崎町	川崎町観光協会	川崎町観光協会	宿泊クーポン発行事業	町内宿泊施設で使用できる割引クーポンを発行し、宿泊事業者の支援を行う。	R2～	・町内外から1690泊の需要を創出。	R3年度と同規模の1泊あたり5000円の補助を1600泊行う計画。	7月1日より利用開始	地方創生交付金	-	-
				(117)	川崎町	川崎町川崎町商工会	川崎町商工会	ふるさと応援商品券発行事業	町内全世帯へ商品券を配布することにより、消費喚起及び地元のよさを再発見する機会の創出を図る。	R2～	・約60,000千円の需要を創出。	町民1人当たり7000円の商品券を配布し、約60,000千円の需要を創出する。	6月より順次配布を開始し、8月に追加で第2弾として、1人当たり5,000円分の商品券を配布。	地方創生交付金	-	-
				(117-1)	川崎町	川崎町		包括的シティプロモーション事業	新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。	R3～	・サウンドロゴ制作（堂島孝平氏作曲） ・Youtubeコンテンツ制作（MC、バコメ） ・ラジオ番組制作（MC、バコメ） ・ラッピングバス広告（タケヤ交通）	・Youtubeコンテンツ制作 ・ラジオ番組制作	・Youtubeコンテンツを月2回のペースで配信 ・ラジオ番組を月2回のペースで放送中	地方創生交付金	-	-

仙南地域広域観光推進プランに係る令和4年度事業計画・進捗状況（施策順）

丸森町

基本方針	施策	小項目	主な取組	通しNo.	報告担当	管内実施主体 ^(注1)	他自治体・関係団体等との連携 ^(注2)	事業名	事業概要	事業期間 ^(注3)	R3年度実績	R4年度計画	R4年度進捗状況または実績	財源 ^(注4)	再掲	再掲基本方針4
基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進	施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実	①新たな体験・滞在型観光メニューの造成	多様な体験観光メニューの造成 【重点2】	(49)	丸森町	(一財)丸森町観光物産振興公社	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会	グリーン・ツーリズムと連動した旅行業展開	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森“こらいん”ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品造成・販売	継続	・11月20(土)に町内トレッキングツアーを(町内路線バスの観光活用への試み) ・町内飲食店・パンフレットを制作 ・町内の直売所などを周遊するスタンラリーを実施 ・猫神さま紹介ツアー(少人数受け入れ)を複数回実施。	・季節の景観などを活かした体験メニューについて、オンライン予約販売の検討 ・季節の食をPRする企画の検討、実施(地域の生産者、飲食店と連携) ・受け入れコンテンツのための資料、マップの制作検討 ・伊具高校生が考える丸森のおススメ観光のリーフレット制作に協力中。 ・「不動尊公園周辺散策マップ」について、内容を更新作業中。	○オンライン予約販売企画 ・「丸森食を知る×学ぶ×味わう会」(5/22(日)、参加者9名で開催) ・「七夕神社周辺をめぐり」はた織り体験(最少催行人員にとどかず催行中止) ・「丸森のオオカミ信仰」(最少催行人員にとどかず催行中止) ・「伊具高校生考案 手ぶらで堪能日帰りBBQツアー」(最少催行人員にとどかず催行中止) ○季節の食のPR企画 ・「丸森食を知る×学ぶ×味わう会」(5/22(日)、で特産のたけのこをPR) ・「葉拾いイベント×栗畑でカフェタイム」(9/25(日)、参加者21名で開催) ・「俳句を詠むワークショップ」 ・丸森のうまいものちよこっと満喫」について参加者募集中。 ・「JAみやぎ仙南マルシェin丸森」にて、姉妹都市端野町の農産物PRを町内のキッチンカーにてコラボメニューとして販売することを企画推進中。 ○受け入れコンテンツのための資料、マップ制作検討 ・伊具高校生が考える丸森のおススメ観光のリーフレット制作に協力中。 ・「不動尊公園周辺散策マップ」について、内容を更新作業中。			